（様式－3）

再発防止対策報告書

東北支部

発生日時	令和５年１０月２３日（月曜日）１３時３８分頃						天候		晴	
災害の程度	死亡　名		負傷　１名		職種 基礎工		年令 ６１才		経験年数２２年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下		崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他	
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			

災害の状況

［件　　名］ コンクリート打設中に型枠が破壊し，作業員が型枠と支保工の間に挟まれ，噴出したコンクリートに埋もれて受傷

［作業内容］ コンクリート打設

［発生状況］ コンクリート打設中に鋼製型枠が破壊し，土止め支保工と鋼製型枠の間で作業していた作業員が，鋼製型枠と土止め支保工の間に挟まれ，噴出したコンクリートにより胸部の下まで埋もれて受傷。

［被災程度］ 下半身挫滅症候群 出血性ショック，骨盤骨折,両側血気胸

［服装・装備］ 保安帽、作業服(上下)、ヤッケ(上下)、ゴム袋、安全長靴

原因及び対策

［発生原因］

・技術員は円形鋼製型枠最下段の締付金具（バンドやチェーン等）についての現場確認を怠った。

・施工班は円形鋼製型枠最下段に締付金具を取付けなかった。

・コンクリート打設中に作業員は身動きが取りづらい狭小個所で作業した。

［再発防止対策］

・技術員と作業責任者（作業班長）は円形鋼製型枠（円柱用）等の使用による特殊な工法によって施工する際、チェックリストを作成し作業手順書と照合して確認を行い、不備があれば技術員が作業責任者（作業班長）に指示し是正する。

・技術員は、締付バンド（円形鋼製型枠締付材等）の取付けスペースを確保した土止め支保工を選定する。

・作業責任者（作業班長）は円形鋼製型枠（円柱用）のコンクリート打設時に土止め支保工内に立入らないよう作業員に指示し、コンクリート打設前に作業員が入っていないことを確認する。

・作業責任者（作業班長）は作業員に、円形鋼製型枠（円柱用）の仕様をよく説明し、仕様通りの施工であるかを確認する。

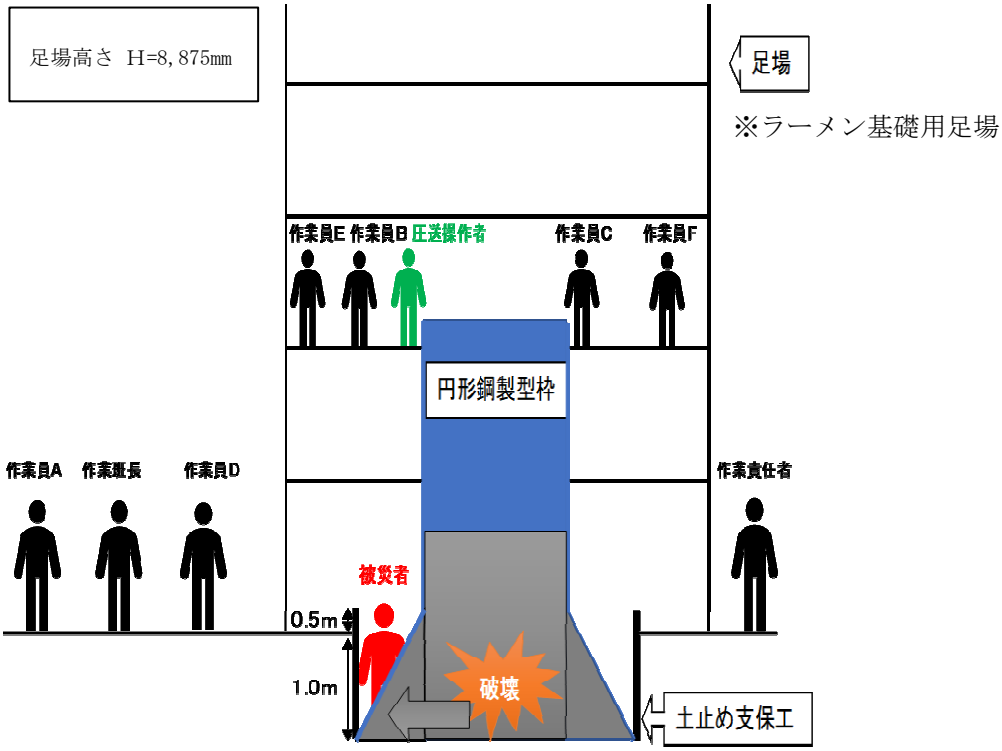
（注）1.「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に〇印を付ける。

2. 災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。
特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

（様式－2）

災　害　概　要　図

被災時の状況

※土止め支保工内に入り雨水の処理作業をしていた作業員が，円形鋼製型枠と土止め支保工の隙間に挟まれ、コンクリートに埋もれた

配置図